

「日中における労働関係の変容と労働法の役割」

日時 2013年7月6日(土)、7日(日) 両日とも 9:00 ~ 17:00

場所 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 (W棟)

W409

一、労働関係と労働立法の特徴と趨勢

常 凱 (北海道大学・教授、中国人民大学・教授) 「集团的紛争についての法規律に関する幾つかの問題」

野田 進 (九州大学・教授) 「日本における非正規雇用の規制立法とそのインパクト」

陳 歩雷 (西南政法大学・教授) 「中国における労働関係の転換の障害と改革の方向」

石井知章 (明治大学・教授) 「中国における労働 NGO の現状と課題」

7/6
(土)

二、集団労働関係に関する法規制

道幸哲也 (放送大学・教授、北海道大学・名誉教授) 「団交拒否紛争の処理」

王 晶 (首都経貿大学・准教授) 「団体交渉制度の構築と労働三権」

尚 珂 (北京物資学院・教授) 「中国における労働紛争の調停メカニズムに関する研究」

涂 偉 (中国人民大学・講師) 「中国における集团的労働紛争の処理に関する現行法とその問題点について」

陶 文忠 (首都経貿大学・准教授) 「中国における不当労働行為に関する法規制の研究」

斉藤善久 (神戸大学・准教授) 「ベトナム労働法における労働組合の法的地位」

路 軍 (山東財経大学・准教授) 「中国におけるストライキの伝播メカニズムに関する研究」

三、就職と雇用に関する法律問題

池田 悠 (北海道大学・准教授) 「日本型雇用システムにおける解雇規制の機能」

藤川久昭 (青山学院大学・教授、弁護士) 「「金」か「職」か? ~ 雇用関係はどのように終了すべきか?」

任 吉 (北京物資学院・准教授) 「中国の非正規雇用における労働関係に関する研究」

童 玉芬 (首都経貿大学・教授) 「中国における流動人口の労働参加に関する

意思決定の世代間差異とそれを影響する要因」

山下 昇 (九州大学・准教授) 「中国における労働時間と休憩休日の規制の課題」

7/7
(日)

四、労働者の利益保障に関する問題

鈴木 賢 (北海道大学・教授) 「差別と搾取に依拠した発展モデルと労働法の役割」

楊 河清 (首都経貿大学・教授) 「中国における「過労」問題の研究動向——文献による統計的分析」

李 敏 (華南理工大学・教授) 「効率、公平と発言権のバランス——中国における日系自動車部品メーカーの事例に基づく研究」

早川智津子 (佐賀大学・教授) 「外国人技能実習制度—就労請求権と国籍差別の規制」

黄 偉 (中国人民大学・准教授) 「一次分配における労働報酬の向上の比重

——北京市の最低賃金の調整とその就職効果に関する分析」

牟 俊霖 (首都経貿大学・准教授) 「中国労働者の交渉能力による賃金に対する影響に関する計量分析」